

平成 30 年度

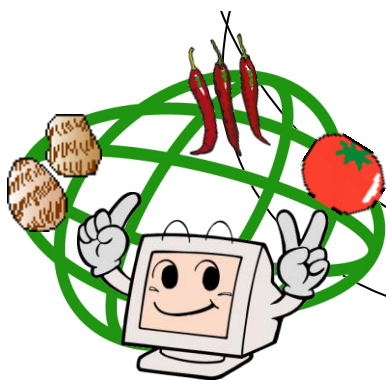
がんばる地域サポート事業 活動事例集



地域の未来を考え、
行動していきたい



地域を支え合うための
新しい組織を立ちあげた



地域の資源をもっと
知ってもらいたい!



みんなが楽しめる
空間を作りたい!

中津川市役所 定住推進部 市民協働課
TEL 66-1111 (内線 325)

～ 目次 ～

■絆づくり部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者名	ページ
1	中津西	中津西地区自主防災研究会	中津西地区自主防災力強化事業	青木 完治	2
2	中津東	子野区歴史勉強会	子野区の昔ばなし	原 逸郎	4
3	苗木	なえぎ城山レディース	苗木城跡おもてなしマルシェ	加藤 かな子	6
4	苗木	苗木城跡を世界に広める会	ホームページによる苗木城跡の情報発信	水野 誠	8
5	坂本	坂本をもっと知ろう会	坂本の文物を地域の皆さんにお知らせする事業	江崎 良彦	10
6	坂本	あぶくたったの会	保育園、幼稚園等における絵本の集団読み聞かせ、学校茶道、花壇の整備	田中 孝一	12
7	落合	御殿山太鼓「男波」	地域行事の活性化と御殿山太鼓の保存と伝承	松原 勇氣	14
8	落合	落合マレットゴルフ愛好会	マレットゴルフの普及を通して高齢者の居場所と健康づくり事業	井口 篤	16
9	阿木	阿木村づくり塾	阿木の個性の掘り起しと魅力発信	鈴木 利之	18
10	山口	馬籠地域づくり推進協議会	竹のあかりプロジェクト事業	大脇 和人	20
11	坂下	バンジー坂下	中高年のためのなるこ踊り	宮下 邦子	22
12	川上	カワカツ	川上の田舎と自然を楽しむ活動	橋本 あみる	24
13	加子母	はっぴーたーん	地域を創るママ力向上事業	小島 未来	26
14	加子母	日赤奉仕団加子母無線分団	アマチュア無線による地域活性化と防災のためのネットワーク構築事業	伊藤 義彦	28
15	付知	付知 BLACK BEE CLUB	ハイバチで地域づくり～食文化を次世代に繋ぐ～	早川 利廣	30
16	福岡	秀吉の切り株保存会	秀吉の切り株保存事業	駒田 義明	32
17	蛭川	わくわく組合	もりのままっこ（子育てサロン）&自然体験塾	古田 浩之	34
18	蛭川	蛭音 コネクト	蛭音祭（ひるおんさい）	玉谷 正幸	36

■立ち上げ部門

No.	地区	団体名	事業名	代表者	ページ
1		フラワーオブライフin中津川	命と食の大切さをつなぐ	長谷川 美佳	38
2		四ツ目川の桜と環境の会	四ツ目川の桜と環境の整備	柘植 龍雄	40

平成30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

団体名	なかつにしちくじしゅうほうさいけんきゅうかい	地域名	中津西	地区	
	中津西地区自主防災研究会	会員数	23	人	
ふりがな	あおき かんじ	延べ 参加人数 内(会員数)	1285 人(121 人)		
代表者名	青木 完治				
事業名	中津西地区自主防災力強化事業				
総事業費	212,104 円	実施期間	平成 30 年 6 月 1 日から		
内(補助金額)	(200,000 円)		平成 31 年 2 月 28 日まで		
事業分類	番号	①	番号	②	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの発展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他		
事業の目的					
1 中津西地区自主防災活動の推進					
2 自主防災活動の資料及び用具の整備					
3 自主防災力の啓蒙・啓発					
具体的な活動内容					
1)について ・防災士の育成と支援 ・避難所開設運営訓練への支援と実施					
2)について ・台風時避難所および中津商業避難所マニュアル、防災啓発資料の作成 ・避難所運営用具器具等の配置					
3)について ・DIG(災害図上訓練)及びHUG(避難所運営訓練)研修 ・各種防災講習会					
主な活動の流れ					
研究会	4月～2月まで、毎月第3水曜日に開催(11回実施)				
資料作成・用具購入	避難所運営資料・ブルーシート等の購入・配置・活用、ペット避難資料				避難所運営用具文具等準備
避難所マニュアル作成	台風避難マニュアル作成	中津商業避難所マニュアル準備会		運営委3/27(次回予定)	
避難所開設訓練	第1回運営委 班係会	訓練実施	訓練反省	次の方向検討	第2回運営委
自主防災講習会	HUG(避難所運営)研修	災害伝言ダイヤル講習		県防災講習会	過ごしやすい避難所
	4月	6月	8月	10月	12月 2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)					
1 防災士がいる区が多くなり、避難所開設訓練・豪雨時開設や各区自主防災活動に取り組めた。					
2 豪雨時避難所マニュアル作成・ペット対応、中津商業避難所運営委員会開催・準備まで進められた。					
3 「いざという時に役立つ活動・訓練を！」という方針を掲げ、計画・実施・見直しと地道に改善を積上げた。					
4 避難所運営委員会・区役員会など定例会合の場を生かした自主防災活動が進められた。					
以上4点により、自主防災活動の継続的推進と、防災士等のスキルアップを図れた。					
今後の展開(自立に向けた活動)					
1 市内各地域の避難所運営委員会や防災団体の活動を学び合い、情報共有と効果的推進を図りたい。					
2 防災士不在の区をなくし、自主防災活動への継続的取組みを強めたい。					
3 地域づくりの大事な分野として、自主防災活動を継続的に進める予算を確保する。					
以上の3観点から、当地域自主防災力とその活動の充実を図りたい。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

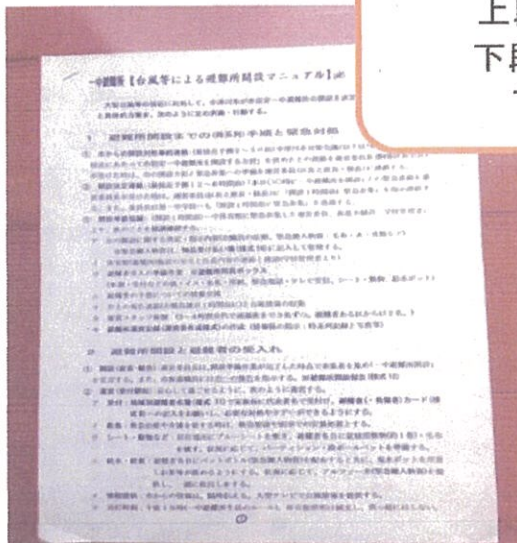
活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



上段左は定例会の様子
 上段右は人材の組立ての様子
 下段左はアルミ缶を使った炊飯訓練と
 下段右はダンボールに依る簡易ベッドの作成



上段左はペットの避難受付ブース
 上段右はノロウイルス対策の受講
 下段左は台風時の避難マニュアル
 下段右はブルーシートの設置



ふりがな 団体名	このくれきしべんきょうかい		地域名	子野区	地区	
	子野区歴史勉強会		会員数	7	7 人	
ふりがな 代表者名	はら いつろう		延べ 参加人数 内(会員数)	150 人(85 人)		
	原 逸郎			弘法大師の祭り(20人)及び神明神社の 新嘗祭(50人)に区民も参加いただいた。		
事業名	子野区の昔ばなし					
総事業費 内(補助金額)	201,807 円 (200,000 円)		実施期間	平成 30 年 6 月 1 日から 平成 31 年 2 月 28 日まで		
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
1.子野区に昔から住んでいる方たちが、祖先から受け継いだ「地域の昔ばなし」や写真・書物などを参考に子野の歴史を記録に残す						
2.子野区の歴史を継承できる冊子作成する						
具体的な活動内容						
1.1回/月勉強会を実施						
2.調査した子野区の歴史を参考に中山道歴史マップを作成した						
3.神明神社の神様のいわれを表示した						
4.歴史建造物の清掃・整備を実施した(2回/月実施)						
事業 内容	主な活動の流れ					
	マップ事前調査		マップ案作成		印刷	設置
	←→		←→		←→	←→
		神明神社調査		表示板作成		設置
		←→		←→		←→
4月		6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
1. マップを作成するにあたり、印刷会社のデザイナーと相談し完成することができた						
2.神明神社のきろくが残ってなく、ネット・高齢者の意見を参考に作成した。						
3.子野の歴史・文化をまとめが大変である(冊子の原本となる)						
今後の展開(自立に向けた活動)						
1.冊子にするまとめ方を決め1年以内に作成する						
2.弘法大師の祭り、神明神社の新嘗祭への宮田(みやでん)等を継承する						
3.子野区にある建造物、石仏の案内を観光客に説明できるようにする						
4.海外の観光客にも説明要員を育てる(学生)						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

中山道マップ
日本語版



英語版



マップの保管と表示

中山道マップあります

自由にお持ち帰りください



マップ英語版

マップ日本語版

1回/月の勉強会



神明神社の表示



平成30年度 がんばる地域サポート事業 事業事例実績報告書

ふりがな 団体名	なえぎしろやま だいでいーす なえぎ城山レディース		地域名	苗木地区									
ふりがな 代表者名	かとう かなこ 加藤 かな子		会員数	24人									
事業名	苗木城跡おもてなしマルシェ		延べ 参加人数 内(会員数)	5,180人(146人)									
総事業費 内(補助金額)	201,764円 (200,000円)			4/12・29=300人 5/5・20=300人 6/3=1,200人 7/22=80人 8/14=1,000人 9/16=400人 10/14・20=1,500人 11/3・25=400人									
事業 分類	番号	2		活動 分野	番号	4							
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流								
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他								
事業の目的													
<p>天空の城ブームで、苗木城跡を訪れる観光バス等が増加していますが、なかには高齢の方や足に不安のある方々の居場所(休憩場所)がないことから、その近くでお茶の一杯でも「おもてなし」をしたらどうか、そして地元朝取りの季節の新鮮野菜、特産品、地元手作りパン、手芸品等で旅の目的の一つ「買う楽しみ」を味わって頂いたらどうか、また会話を楽しみながら情報交換や苗木城跡のアピールが出来るような「おもてなしマルシェ」を目的とする。</p>													
具体的な活動内容													
<p>1、毎月第2・4日曜日に極力開催出来るよう計画。(＊4月～11月)</p> <p>【特例】 来場者の多いJRさわやかウォーキング、苗木城まつり、苗木あんどんまつり、苗木秋まつりなど地域行事に参加</p> <p>2、新城市トラック市へ視察。</p> <p>3、可児市「山城に行こう」に参加</p> <p>4、キッチンカーを利用して販売。</p> <p>5、中津川青年商工会議所主催のスカイランタン行事に協賛。</p> <p>6、Tシャツが好評で販売出来た。</p> <p>7、ほうば寿司、味ご飯、あじめこしょう、トルティヤ、焼き芋、じゃがバターなどの商品を販売出来た。</p>													
主な活動の流れ													
事業 内容	開催日	12・29	5・20	3	22	14	16	14・20	3・25		20		
	打合せ 会等	10・17		2・12・24	10・28		5・15	9・15	13・23	14	19	9・19	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)													
<p>1、キッチンカーでの販売予定日がほかの行事と重なり利用できなかったことがあった。</p> <p>2、焼き芋、じゃがバター共に好評で袋詰め等にして販売した。</p> <p>3、月二回が限度</p> <p>4、店舗の支度、片付けが年齢と共に段々重荷になって来た！</p>													
今後の展開(自立に向けた活動)													
<p>1 今までの経験を活かして継続できれば良いと思います。</p> <p>2 展示品は、今までの実績と新しい商品等も考慮しながら販売して行く。</p> <p>3 これからも、キッチンカーを活用出来るようなメニューも考えて行く。</p> <p>4 微力ながらも地域の行事や苗木城跡のPRを兼ねて、私たちが出来る範囲内で、このマルシェを維持して行きたいと思っています。</p>													



4 月 12 日桜公園 桜祭り



4 月 29 日バスのお客様 おもてなし



5 月 20 日 無料デー



6 月 24 日新城市軽トラ市見学



8 月 14 日あんどん祭り



10 月 20 日苗木城まつり



10 月 21 日城好きの昇太さんと



金山城「山城に行こう！」可児へ

平成 30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	なえぎじょうせきをせかいにひろめるかい		地域名	苗木	地区	
	苗木城跡を世界に広める会		会員数	86	人	
ふりがな 代表者名	みずのまこと		延べ 参加人数 内(会員数)	120 人(120 人)		
	水野誠					
事業名	ホームページによる苗木城跡の 情報発信					
総事業費 内(補助金額)	238,210 円 (200,000 円)		実施期間	平成 30 年 6 月 1 日から 平成 31 年 3 月 5 日まで		
事業 分類	番号	2	活動 分野	番号	4	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的						
地元苗木の人達に苗木城跡の良さを再認識し、理解して貰う。						
具体的な活動内容						
苗木城跡の撮影及びHPに随時掲載。Facebook活用による情報発信(同名タイトル。苗木区民のファンを増やす(正会員・サポート会員募集)。あんどん掲示用の写真募集(区民)。大型あんどん展示苗木交流センター・ふれあいプラザ(あんどん祭りに出展)。協働・区長会、まち協、城山レデース、ほっとしよくらぶ、市広報他、写真提供等。苗木城伝説絵巻販売、英語版作成中。						
主な活動の流れ						
事業 内容	HP用苗木城跡撮影・掲載随時(Facebook・instagram掲載) →					
	手作りあんどん・写真募集・交換・展示 →					
	苗木城赤壁伝説絵巻販売・英語版作成中 →					
	イベント計画・参加(缶バッチ販売)、まち協・がんサポ等随時 →					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
正会員が24人サポート会員62人(ほぼ継続)。訪問31,429人⇒48,945人PV189,606⇒245,207。掲載枚数2,502枚⇒2,808枚。Facebook・Instagram連携継続、あんどん展示・苗木交流センター・ふれあいプラザ・苗木城三の丸。ほっとしよくらぶ写真掲示6パネル(継続)。中津川市写真提供(HP、市議会)NHK(空撮動画:大塚さん)苗木城写真紹介。遠山史料館写真提供20枚(継続)。苗木城伝説絵巻販売(まち協・元越・他6店)・英語版作成中。ホームページでの販売開始(絵巻)。サーバー強化(HD → SSD)。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
HPの訪問数の増加。サポート会員の継続及び新規の会員募集。クラウドの新規顧客開拓。写真提供、展覧会等での利益。苗木城伝説絵巻の継続販売による利益の確保。缶バッチの開発販売。岐阜の宝物認定による活動要請が予想されるので対応する。新規土産物の開発。ホームページでの販売拡大。						

※この様式は活動事例集と同一編集自由なので変更ないでください

大型あんどん展示

HP訪問

訪問: 48945人(245,207PV)
今月: 1418人(5,072PV)
前月: 1247人(3,995PV)
from 2016

HP写真掲載全部・2808
枚(今年306枚)



NHK放映



Instagram



takayoshi_ao
2018 best nine on Instagram #2018bestnine



558,772 Likes to 563 posts in 2018
takayoshi_ao Thank you for your likes!

ほっとしよくらぶ写真掲示(継続)



土産物作成販売(継続)



サーバー強化



360度カメラ購入



英語版絵巻作成中



(写真選定)

(吹き出し文字消去)

ふりがな 団体名	さかもとをもっとしろうかい		地域名	中津		地区
	坂本をもっと知ろう会		会員数	80		人
ふりがな 代表者名	えさきよしひこ		延べ 参加人数 内(会員数)	54		人(54 人)
	江崎 良彦					
事業名	坂本の文物を地域の皆さんにお知らせする事業					
総事業費 内(補助金額)	211,680 円 (200,000 円)		実施期間	平成 30 年 6 月 1 日から 平成 31 年 3 月 27 日まで		
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号	⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的					
	坂本の文物等を地域にお知らせし、より深く知ることによって郷土を知り、地域愛を育み、コミュニティの発展と強化を目指す 坂本の先人や公的機関等が発行された文物が、地域の皆さんにお知られされず眠ってしまっております。それらの書籍等を再発行し、文献・資料として活用し、より郷土への理解や愛情を深める一助とするものです。					
	主な活動の流れ					
	地域の活動団体が研究された資料を再調整の上、編集し製本し、坂本公民館等の公共施設に配布し区民の方々に見ていただきます。 ①現地を調査しそのいわれや歴史を現地の人に聞き合わせる ②資料を探し紐解く ③得た資料や情報を元に精査する					
	主な活動の流れ					
			会合(毎月)	現地調査(随時)		
				文化遺産保存会部室での編集作業(随時)		
				聞き取り調査(随時)	補足説明分の加筆修正	
						製本
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)						
完成した「坂本記録写真集」は膨大な資料の写真集1冊にまとめる難しさもあり、時間的に完成できないのではないかと危惧しました。 情報が少ない史跡は文献と現地や写真が一致せず再度調査が必要だったものもあります。。						
今後の展開(自立に向けた活動)						
過去、教育とその上での人づくりを重視してきたことが、今の坂本地域の根源となっています。このことは今後とも地域の中心課題として進めていきます。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

編集の様子



ふりがな 団体名	あぶくたつたのかい		地域名	坂本		地区	
	あぶくたつたの会		会員数	11		人	
ふりがな 代表者名	たなか こういち		延べ 参加人数 内(会員数)	5550		人(240 人)	
	田中 孝一			読み聞かせ・9ヶ所の保・幼稚園・放課後クラブで定期読み聞かせ。10ヶ所でリコーダーコラボ読み聞かせ。延5300人 茶道・2ヶ所の保育園延250人に実施 花壇整備・8ヶ所の保育園・幼稚園に花苗等を提供			
事業名	保育園、幼稚園などにおける絵本の集団読み聞かせ、学校茶道の指導、花壇の整備		実施期間	平成	30年	4月	1日から
総事業費 内(補助金額)	208,228円 (200,000円)			平成	31年	3月	31日まで
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号			⑨
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流			
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育			
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業 内容	事業の目的						
	①保育園、幼稚園での生活が楽しい思い出として残るように ②一緒にすごした友だちが、いつまでも大切な友だちであるように ③お互いを大切にして思いやりのある子どもに育つようにそんな事の一助になるように活動しています。 ・読み聞かせ部門・・一冊の絵本を共に聞き、共感し、協同の態度を芽生えさせる。 ・学校茶道部門・・茶道を通して和の心と行儀作法を学び、豊かな心を持つ人に育てて欲しい。						
	具体的な活動内容						
	・読み聞かせ部門・・中津川市内9ヶ所の幼・保育園・こども園・学童放課後クラブで約50回100ステージの通常読み聞かせを実施。「命をつなぐ森づくり」の会場で2回実施。10ヶ所の幼・保育園でプロのリコーダー演奏家とコラボした読み聞かせを実施。 ・学校茶道部門・・2ヶ所の保育園で継続実施 ・花壇整備部門・・希望する保育園・幼稚園に花苗などの提供						
	主な活動の流れ						
絵本	4ヶ月前に園・担当者スケジュール、2ヶ月前に絵本の選定、著作物利用許可申請、1ヶ月前に写真撮影し担当者へ配本、各月・・・各プログラムにより保育園・幼稚園などで開催						
茶道	講師1名が保育士数名の協力を得て行儀作法等を教える						
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
平成27年度に3ヶ所の保育園で始めた集団読み聞かせは、今年度8ヶ所の幼・保育園に拡大した。さらに昨年末からは坂本学童放課後クラブの要請のより小学生を対象に読み聞かせを始めた。また、リコーダー演奏とコラボした読み聞かせも前年度の4ヶ所から10ヶ所に増え、プロの演奏に接することの少ない園児等に興味深く迎えられている。対象先が増えるに従って、各園間の実施日・読み手の調整が難しくなり、毎月実施していた園を年8回に減らして継続している。「命をつなぐ森づくり」の会場では、園児がドングリを拾い種蒔きをした後に森に関する絵本を読み、森に対する興味を深めた。							
今後の展開(自立に向けた活動)							
中津川市からの助成金により読み聞かせに使う機器などが整い、また坂本事務所の協力により高性能のプロジェクター、スクリーンを借りることが出来るようになった事により、新規の保育園・幼稚園などでも設備などを心配する事なく読み聞かせ実施が可能となった。今後の計画として、定例の読み聞かせはほぼ軌道に乗ったので、リコーダー演奏とコラボした読み聞かせに関して、遠隔地の園への交通費等の確保を図っていきたい。また、予てより希望のある恵那市内のこども園等でも活動して行く予定です。							

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

あぶくたつたの会 活動状況写真等 平成30年度(2018)

読み聞かせ部門



リコーダー演奏とコラボした読み聞かせ・・・市内10ヶ所の幼稚園・保育園 770名参加



定例の読み聞かせ・・・市内8ヶ所の幼・保・こども園
年間60回訪問 690名参加

「命をつなぐ森づくり」で野外での読み聞かせ
年間2回実施 2園50名参加

学校茶道部門



めぐみ保育園 茶道の指導



にしこまの森こども園 茶道の指導

花壇整備部門



花苗の配布



ハロウィンのカボチャ配布



絵本「そらまめくんのあたらしいベッド」
に登場する綿の木を栽培、配布

平成30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ごてんやまだいこ だんぱ		地域名	落合		地区		
	御殿山太鼓「男波」		会員数	18		人		
ふりがな 代表者名	まつばら ゆうき		延べ 参加人数 内(会員数)	108		人(83 人)		
	松原 勇気			・ぼんてん祭18人 ・文化連発表会 5人 ・八幡神社 18人 ・ふるさと祭り 中止 ・地元芸能祭 18人 ・バザー 中止 ・公民館祭り 18人 ・草刈 6人				
事業名	地域行事の活性化と御殿山太鼓の保存と伝承			実施期間	平成 30 年 5 月 31 日から 平成 31 年 3 月 20 日まで			
総事業費 内(補助金額)	411,896 円 (200,000 円)							
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ⑩			
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内 容	事業の目的							
	御殿山太鼓の伝承と保存を基に地域文化の発展に貢献することを目的とする。 太鼓での参加以外でも積極的に地域行事に協力する。 「男性だけの太鼓」とは別に、女性太鼓や子供太鼓の立ち上げを視野に会員の拡大を計る。							
	具体的な活動内容							
	<input type="checkbox"/> 週に一度の練習 <input type="checkbox"/> 新曲の作調と練習 <input type="checkbox"/> 女性、子供の募集 <input type="checkbox"/> 文化連の参加と協力 <input type="checkbox"/> 落合ふるさと祭り、バザー協力(準備はしていたが台風のため中止) <input type="checkbox"/> 各イベントや落合川清掃への参加							
		・がんサポ 審査会	・ふるさと祭り ・バザー出店 (準備したが中止)		・八幡神社祭典 ・文化連発表会 ・地元芸能祭		・公民館祭り	・ぼんてん祭
	4月	5月	7月	8月	10月	11月	2月	3月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)							
	<input type="checkbox"/> 新曲の練習を始めております <input type="checkbox"/> 新メンバーは、小学生2名、中学生1名、成人2名(全員女性)で基礎から練習しています <input type="checkbox"/> おいでん祭参加の門扉が狭くとても残念です。 <input type="checkbox"/> 落合みこしに数名参加しました							
	今後の展開(自立に向けた活動)							
	<input type="checkbox"/> 太鼓の購入 <input type="checkbox"/> 衣装の購入 <input type="checkbox"/> 女性太鼓を「女波」としてデビューさせる(年齢にバラつきがあるので、パートを考える) <input type="checkbox"/> 施設訪問もお声掛け下されば協力します <input type="checkbox"/> がんサポは、太鼓を揃える大きな力となりました。一層努力を重ね地域行事に参加をします							

※この様式は活動事例集として編集し、印刷のできる状態にしております。

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

■ 旧ユニフォームで参加
(八幡神社祭典)



■ 購入した短胴大太鼓



■ 購入した新ユニフォーム(Tシャツ)で参加
(八幡神社祭典)



■ 購入した新ユニフォーム



■ 太鼓の練習をする子供達



■ 公民館まつり参加



平成30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	おちあいまれつとごるふあいこうかい		地域名	落合	地区						
	落合マレットゴルフ愛好会		会員数	100	人						
ふりがな 代表者名	いぐち あつし		延べ 参加人数 内(会員数)	1,887 人(1,707 人)							
	井口 篤			・月例会 278人 ・毎月練習 347人 ・毎月清掃 455人 ・3大大会 121人 ・三世代交流会 64人 ・東部六地域交流会 78人 ・落合宿大会 179人 ・中学生との交流会 49人 ・その他大会 316人							
事業名	マレットゴルフの普及を通して高齢者の居場所と健康づくり事業		実施期間	平成 30 年 5 月 30 日から 平成 31 年 3 月 22 日まで							
総事業費 内(補助金額)	451,080 円 (200,000 円)										
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号	①					
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育						
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他								
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業											
事業 内容	事業の目的										
	マレットゴルフは、森林を活用した自然の中で、手軽に子どもからお年寄りまで個々の技量で出来るスポーツです。歩きながら、笑いながら楽しむ、地域の活性化、健康づくり、高齢者の福祉健康づくりに寄与することを目的とする。										
	具体的な活動内容										
	□月例会、3大大会、東部六地域交流会、三世代交流会、ルール講習会を開催し、落合地区だけでなく広く多くの方と、子ども達とのふれあい交流会を開催する事ができた。 □ボランティア活動として、落合石畳マレットゴルフ場の清掃作業、毎月1回行うことができた。 □協会の大会及び、他地域の大会にも参加してマレットゴルフの楽しさと仲間づくりができた。										
	主な活動の流れ										
	・月例会 ・東部六地域第2回大会	・月例会 ・春季落合宿大会	・落合三世代マレットゴルフ交流会 ・月例会	・第22回大会	・月例会 ・市民総合体育大会	・月例会 ・第1回落合石畳MG場大会 ・先進地視察研修	・月例会 ・秋季落合宿大会	・第23回大会 ・第3回議長杯	・初打ち	・月例会	・月例会 ・マナーとルール講習会
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)										
	□先進地視察研修により、別紙「視察研修報告書」のような成果があり改めてマレットゴルフに対する認識を深めることが出来た。 □備品として、役員用のスポーツベストを購入し、役員に貸与した。よって、各種大会運営にそれぞれの係が明確と自覚により参加者からも好評を得た。 □他団体(落合老人クラブ連合会、体育協会落合支部、JA)が主催する大会の運営を愛好会が担当することにより、地域との交流を深めることが出来た。 □目標に掲げていた東部地域内の未組織地区に2つの愛好会が設立できた。 (1 神坂・馬籠地区「M&Mマレットゴルフ愛好会」会員16名) (2 山口地区「山口マレットゴルフ愛好会」会員31名)										
	今後の展開(自立に向けた活動)										
□大会を多く開催することにより、より多くの方がマレットゴルフ場を利用することができた。今後も健康促進を目的に大会を増やしていく。 □学校とも連携を図りながら、三世代ふれあい交流やファミリーでの利用者を増やしていく。											

※この様式は活動事例集として編集し自由に変更しないでおくこと

■ 先進地視察研修



■ ユニフォーム及びポーチ



■ 三世代マレットゴルフ交流会



■ 中学生との交流会



ふりがな 団体名	あぎむらづくりじゅく 阿木村づくり塾		地域名	阿木地区			
ふりがな 代表者名	すずき としゆき 鈴木 利之		会員数	15人			
事業名	阿木の個性の掘り起こしと魅力発信		延べ 参加人数 内(会員数)	125人(119人) 企業調査リスト先個別掲載確認 15名 x 3回=45名 冊子掲載取材及び内容確認他 8名 x 10回=80名			
総事業費 内(補助金額)	257,982円 (200,000円)		実施期間	平成 30 年5 月 1 日から 平成 31 年2 月 28 日まで			
事業 分類	番号	③		活動 分野	番号	④・⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業の目的							
阿木の個性の掘り起こしと魅力発信							
阿木の財産「観光・文化・特産品・もの作り(企業・個人・団体)」を掘り起こし、阿木住人はもとより、地域外の方々にも「阿木の魅力」を発信し、生活環境の充実(空き家対策・住み良い地域づくり等)を推進し地域の活性化を図るもの。							
具体的な活動内容							
阿木地域の観光・文化・特産品・もの作りについて調査(アンケート)を実施。掘り起こし調査表よりジャンル(業種別)に仕分けし、個人・団体・企業への取材。阿木の財産「観光・文化・特産・もの作り」・魅力を、冊子(マップ)にて発信。 * 阿木をもっと知ってほしくて、見てほしくて、阿木の新しい物語「阿木噺」をつめこんだ自己紹介冊子Val、2の発刊							
主な活動の流れ							
事業 内容	阿木個性の掘り起こし・もの作り企業調査						
	冊子・マップ内容の方向性	* 毎月(24日)定例会時情報の共有・コアメンバーによる編成会議					
	アンケート内容の集約	取材先候補の絞り込み	ものづくり・企業リスト先掲載確認	取材調査	取材調査	冊子発刊	
	5月	6月	8月	10月	12月	2月	
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください)							
1期に集落支援員の協力を得て掘り起こし調査した件数110件を、会員全員で冊子掲載についての再確認。 今期は、阿木に移住・嫁に来てものづくりを頑張っている人を主に紹介。農事組合法人 阿木特産営農の協力を得て、移住者に対し、米1俵(1世帯)を贈呈。 30年度贈呈実績→2世帯							
今後の展開 (自立に向けた活動)							
阿木の個性の掘り起こし調査から情報提供・PR等を参考にし、地域の情報発信・イベント・交流(観光・文化・特産・ものづくり等)の開催に向け更なる充実を図り、又阿木の魅力をアピールし地域の活性化に向けた活動を推進するもの。住み良い地域づくりを目指し、移住・定住推進を支援するもの。							

平成30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	まごめちいきづくりすいしんきょうぎかい		地域名	馬籠	地区	
	馬籠地域づくり推進協議会		会員数	21	人	
ふりがな 代表者名	おおわき かずと		延べ 参加人数 内(会員数)	18 人(地域外3 人)		
	大脇 和人			120人		
事業名	竹あかりプロジェクト事業					
総事業費 内(補助金額)	240,000 円 (200,000 円)		実施期間	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号			番号	③ ④ ⑥ ⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑥林業 ⑩文化・生涯学習		
事業の目的						
<p>馬籠地域づくり推進協議会が、地域の繋がりや絆を目的として行っている馬籠ルネッサンス事業「馬籠ルネッサンス 秋の陣 馬籠宿場まつり」島田公園ライトアップ・あかり街道で、3年ほど前から三重県を中心に活動を行っているcanaarea(カナエリア)にバンブーランプ(竹アート)の展示を期間中1日だけお願いしています。彼らの活動を聞くうちに、竹林整備もバンブーランプ作りの目的でもあることを知りました。</p> <p>竹林整備や竹を利用できる作品づくりをとおして、地域活動を行いたいと考えています。</p>						
具体的な活動内容						
<p>馬籠ふるさと学校での制作活動の他に、少しの空き時間でも製作活動がしたいと自宅で自主活動をすることもありました。地域の若い人が竹のあかりプロジェクトに興味を示したとき、道具やデザインの提供やデザインの仕方など、簡単なアドバイスをし、自分のペースで作業をしてもらえるようにしました。</p> <p>竹の伐採は、一定の太さが多い竹林を探す情報を地域に求めました。</p> <p>昨年、講習会をしてもらった竹アートのグループcanaarea(カナエリア)に、アドバイスや講習会をお願いすることはありませんでしたが、各自が思うように制作活動をすることができました。</p>						
主な活動の流れ						
事業 内容	竹切り	←————→		←————→		
	あぶり・カビ止め	←————→		←————→		
	穴あけ	←————→				
	展示			島田公園ライトアップ		氷雪まつり
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<p>竹は一定の太さの竹が必要で、竹林が思うようになく、探すのが大変でした。竹の長さ揃え・穴あけ・あぶり・カビ止めなど、竹の状態によってだったり、天候により作業が難しいこともありましたが、作業場として馬籠ふるさと学校内の旧教員住宅を確保したり、作業の計画を検討したりなどその都度に問題を解決しながら、制作活動をしてきました。</p> <p>作品を11月の中山道宿場まつり島田公園ライトアップ会場や2月の氷雪祭りで馬籠宿内に展示し、多くの方に見ていただき好評でした。なかには、竹のあかりのうわさを聞いて遠方から足を運んでいただいた方や多くの方がSNSに載せてくださいました。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>作品を11月に行われた中山道宿場まつり島田公園ライトアップ会場に展示し、好評だったこともあり、今後も作品制作活動を継続したいと考えています。今年度は、興味を持った地域の若い世代が加わり活動を始めました。今後、世代交流も目標に活動を広げていきたいと考えています。</p> <p>また、作品を見て「購入したい」「自分の地域でも展示してほしい」などの声も戴き、それに応えられるような活動やその延長で、希望者には簡単なワークショップや作品と一緒に作り展示したいと考えています。</p> <p>また、今後農泊を地域で計画しており、ワークショップとして、このプロジェクトも参加の計画中です。</p>						

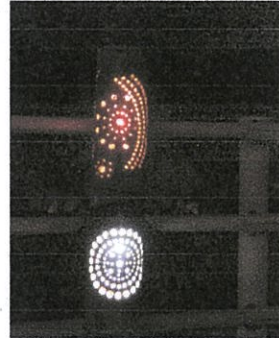
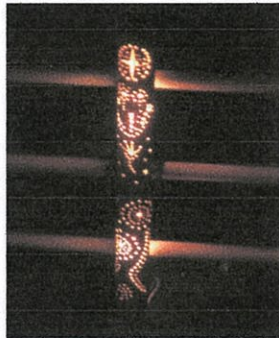
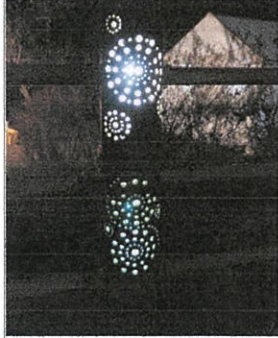
※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



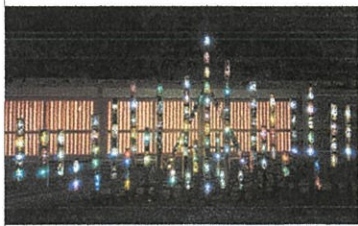
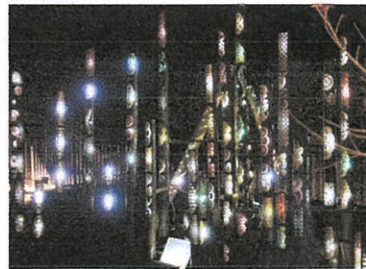
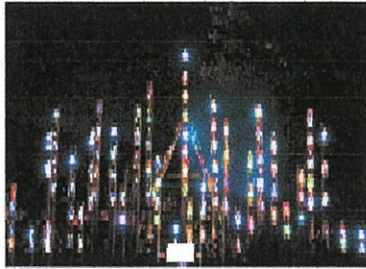
馬宿葉まつり

馬籠宿から島田公園までの県道

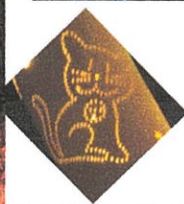


島田公園入口

島田公園内



竹のあかりの中に
このような模様も
取り入れて
遊び心もあります

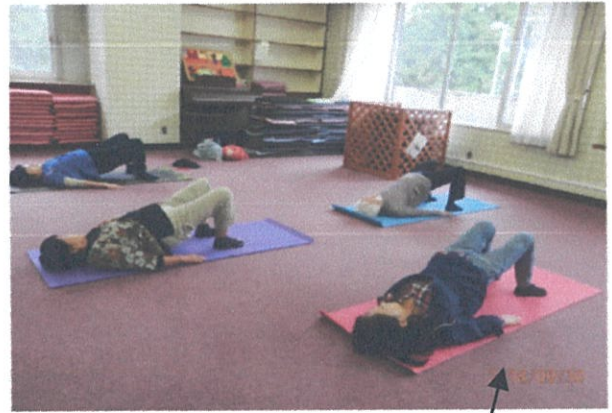


平成 30 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ばんじーさかした	地域名	坂下・山口・川上	地区
	パンジー坂下	会員数	20	人
ふりがな 代表者名	みやしたくにこ	延べ 参加人数 内(会員数)	281	人(279 人)
	宮下邦子			
事業名	中高年のための鳴子踊り			
総事業費 内(補助金額)	327,156 円 (200,000 円)	実施期間	平成 30 年 9 月 30 日から 平成 31 年 3 月 15 日まで	
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①
事業 内容	事業の目的			
	◎地域住民、特に中高年の健康維持・健康増進さらに会員相互の親睦を目的として結成、現在15年目を迎えているが、これを機に坂下のみならず山口・川上にも活動を広げることが目的とする。 ◎具体的には会員数を現在の20名から30名に増やすことを目的とする。			
	具体的な活動内容			
	◎山口・川上・坂下の無料体験実施のため、チラシを作成し新聞折込・各戸配布を行った(5回) ◎山口・川上の芸能祭に出演し、来場者にチラシを渡し入会を勧めた。 ◎山口・川上坂下の各老人クラブ会長に依頼し、老人クラブの会員にチラシの配布と入会の勧誘をお願いした。			
	8月	チラシ作成(山口・川上)	10月	チラシ各戸配布(山口・川上)
	9月	新聞折込(山口・川上)	11月	無料体験(山口・川上)
	9月	無料体験(山口・川上)	1月	チラシ作成(山口・川上・坂下)
	9月	チラシ作成(坂下)	1月	新聞折込(山口・川上・坂下)
	9月	新聞折込(坂下)	1月	無料体験(山口・川上坂下)
	10月	無料体験(坂下)	2月	チラシ作成(山口・川上・坂下)
10月	チラシ作成(山口・川上)	2月	新聞折込(山口・川上・坂下)	
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)				
目的達成のため、山口・川上にチラシを作成し、それを折り込みあるいは各戸配布した。さらに、坂下にもチラシ配布を行い、会員数の増加をはかった。そのチラシに無料体験への案内を掲載した。H30年の夏が酷暑であったため無料体験の開始が9月になった(9月～3月までの7か月間)結果的に体験者は1名にとどまったが「パンジー坂下」の活動が少しずつ山口・川上に広まって来ている事を、色々な場面で実感する事が出来た。 なお、体験者1名(山口・女性・70代)は入会につながったので、そこからの紹介につなげられるような活動をして行きたい。				
今後の展開(自立に向けた活動)				
H30年の活動を地固めととらえ、さらに山口・川上に広め、さらには田瀬や福岡(現在2名在籍)にも募集をして行きたい。そのためサークル名を「パンジー坂下」から改名し、より入会しやすい状況をつくる。 そして今後は普及活動に取り組みながら、ディサービス等への訪問や各地域のイベントに積極的に参加する。 また会としてのオリジナル曲を作成し、パンジー独自の曲目と振付をもつことによって、会員がもっとやりがいを感じる事ができるような会の運営をして行きたい。				

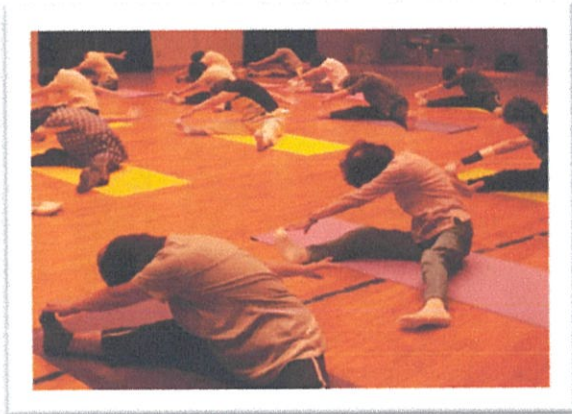
※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

無料体験のようす



手前が体験者
(山口・女性・70代)

ふだんの練習風景



桜の湖さくらまつり出演



坂下芸能祭出演



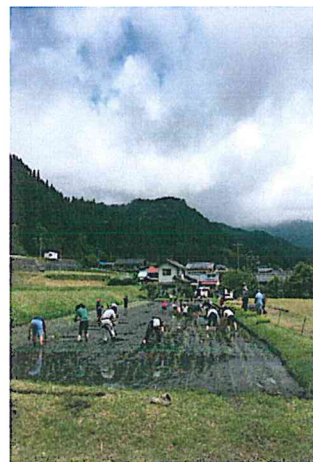
中津川市菓子まつり出演



ふりがな 団体名	カワカツ	地域名	川上	地区				
	カワカツ	会員数	3	人				
ふりがな 代表者名	はしもと あみる	延べ 参加人数 内(会員数)	145 人(3 人)					
	橋本 あみる		たうえるさなぶる、稲刈り体験、しめ縄会、 左義長、漬物部、味噌部					
事業名	川上の自然と田舎を楽しむ活動							
総事業費 内(補助金額)	118,707 円 (88,000 円)	実施期間	平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 2 月 28 日まで					
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号	④、⑩			
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他						
事業 内容	事業の目的							
	私たちの住む川上を田舎だ不便だと言って住みにくいと悲観することなく、素敵なおところを沢山見つけて体験し楽しみ今ここにある川上の自然、田舎の素晴らしさに気づき川上に住む事に誇りを持つこと。							
	具体的な活動内容							
	「たうえるさなぶる」田植え体験と地元農家さんとの食事交流(参加者41人)活動に関する要望を受けた。							
	「企画会議」要望を受け企画内容の変更(会員3名出席)「あゆとるたべる」網漁の見学と川遊び(参加予定者70名)・・・台風の為中止							
	「稲刈り体験」地元農家さんに教えてもらいながら手狩りを体験(参加者37人)「しめ縄会」しめ縄を覚えてもらう(参加者9人)							
	「左義長」川上で昔から行われている行事に参加。(参加者45人)「漬物部」昔ながらの白菜長漬(参加者13人)							
	「味噌部」味噌を仕込む(参加者未定)							
	主な活動の流れ							
	・立ち上げ	・6月16日たうえるさなぶ	・7月1日企画会議	・8月25日あゆとるたべる(雨の為中止)	・10月8日稲刈り体	・10月20日しめ縄会	・1月12日左義長	・2月2、9、16
4月	6月	8月	10月	12月	1月	2月		
具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)								
身近にあるものを今までと違った目線で見ることができました。農業、綺麗な自然、優しいおじさんおばさん、伝統文化であるしめ縄・漬物・味噌作り、地域行事の左義長・夕森もみじまつり、川で魚が獲れること等楽しい事や素晴らしいところが沢山あり、参加者の方にも楽しんでもらったことが一番の成果です。苦労した事は参加者集めです。周知の仕方や参加者が集まるかどうかいつも心配でした。次回の課題は、中止になってしまった川遊びです。結果的には天候による中止でしたが、参加者が多くなりすぎたのでイベントとして成り立たなかったかもしれません。また、初めて企画運営してみて、地区外の人をターゲットにするよりは気心知れた地区内の人たちで昔を懐かしんだり交流したりしながらワイワイとやっていくのがこの活動には向いていると感じました。								
今後の展開(自立に向けた活動)								
一年を通して沢山のイベントを行いました。毎年続けていくためにいきなり規模を大きくしないで、今出来る範囲で無理なく続けていきたいです。川上にあるもの出来ることで事業を行っていくので、設備投資はいりません。費用がかかるものに関しては参加料から賅っていききたいと思います。漬物や味噌などの加工食品に関しては、野菜や大豆を育てることから取り組みたいです。また、私自身地区外からの集客は苦手ですが、地区外や海外の人達にも楽しんでもらいたいし、その人たちから「いいところだね」と言ってもらえる事は私たちの自信と誇りにもつながるので、田舎への移住に興味のある人や日本の田舎文化に興味のある人たちとのパイプのある組織と連携していきたいと思っています。								

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

6月16日に行われた「たうえるさなぶる」チラシと風景



10月8日に行われた「稲刈り体験」のチラシと風景

2月に行われる「漬物部」チラシと風景(2月2日)



2月23日「味噌部」チラシ



10月20日「しめ縄会」風景



1月12日「左義長」

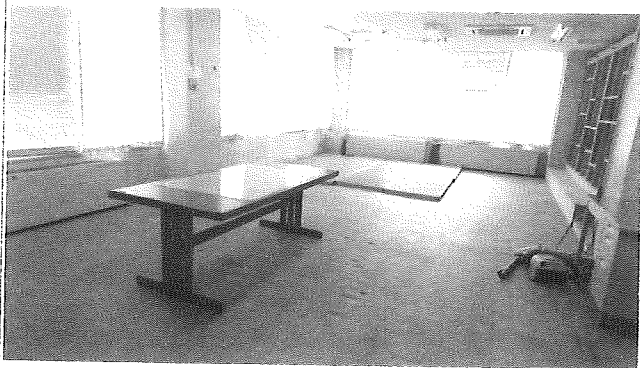


平成 30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	はっぴーたーん		地域名	加子母		地区
	はっぴーたーん		会員数	7		人
ふりがな 代表者名	こじま みき		延べ 参加人数 内(会員数)	98		人(95 人)
	小島 未来					
事業名	地域を創るママ力向上事業					
総事業費 内(補助金額)	205,706 円 (200,000 円)		実施期間	平成 30 年 5 月 29 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで		
事業 分類	番号	①	活動 分野	番号	⑪	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
	③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
<p>1、加子母地域の女性の力で、子育て世代のお母さんをサポートする場やよりよい子育て環境、仕事の獲得などに関わる仕組みをつくり、住みたい地域を自分たちで創ること。</p> <p>2、加子母の情報を集めて発信し、加子母に愛着をもってもらうこと。</p> <p>3、加子母の女性が子育てや家事の合間を活用して少しでも収入を得て子育てや生活を楽しむことができる環境を創り、地域創りに関心を持ってもらい会員を増やしていくこと。</p>						
具体的な活動内容						
<p>1、活動スペースの環境作り</p> <p>2、加子母軽トラ市への出店(活動の宣伝活動、手芸品の製作、ゲームイベントの開催)</p> <p>3、LINE@で育児情報の発信</p> <p>4、希望者に内職の振り分け</p> <p>5、はっぴータイムの開催(月に1回の交流会、ミーティング、イベント、掃除など)</p> <p>6、はっぴーレターの発行(加子母地域の方に活動報告と子育て世代の声を届ける月刊通信)</p> <p>7、パソコン仕事の受注(今後、情報入力や電話対応の仕事を受注予定)</p>						
事業 内容	⇒活動スペースの環境整備&活動開始					
	⇒かしも軽トラ市へ出店 ⇒はっぴータイムの開催 ⇒はっぴーレターの発行					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<p>子供たちが安心して過ごせるような環境整備をしました。はっぴーたーんの活動のポイントである”交代で子守りをしながら作業をする”ためには子供と一緒にいるけれども適度に離れて作業もできて、親子が共に楽しく過ごせる環境と仕組み作りが課題です。かしも軽トラ市への出店やはっぴーレターの発行を通して地域の方々に広報活動ができたことが今後の活動につながると思います。</p>						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<p>現在は週2日前後、開放日を決めて作業をしていますが、今後は平日は毎日交代で開放出来ることを目指して継続的な会員の募集や仕組み作りをしていきたいと思っています。はっぴーレターの発行により、加子母地域に暮らす方々に若いお母さんたちの声を直接届けることによって、地域の子育て環境について考えていただくきっかけになったり、メンバー自身も地域に目を向けながら生活出来ていくようになると思います。</p>						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

荷物整理と清掃活動



こんにちは！
明日は加子母軽トラ市です！今年度最後のサンキューフェスと題しまして、豚汁の無料サービスや持ち揚げがあります！！
日にち 12月9日(日)
時間 9:00～12:00
場所 道の駅加子母第2駐車場

LINE@で 情報発信

豚汁は先着順で、餅揚げは10時半からです！クジが入っていて、野菜が当たります！

はっぴーたんでもハンドメイド作品やハズレなしの100円ゲームコーナーを作りますのでぜひご家族でお越しくださいませ！



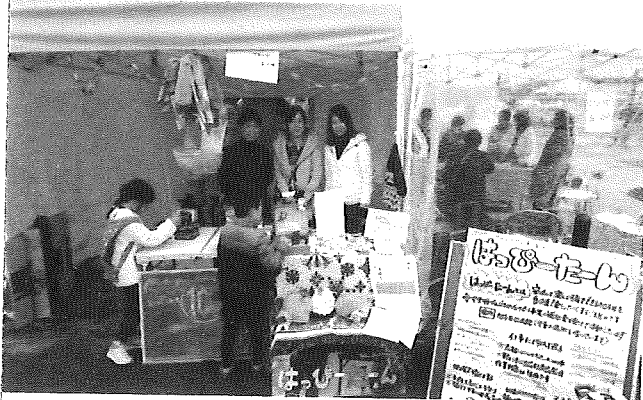
子育て情報の共有



はっぴータイムの開催



加子母軽トラ市への出店



手作り商品の販売



内職を持ち寄っての作業



子供たちにも安全な環境整備



平成30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	につせきほうしだん かしもむせんぶんだん		地域名	加子母		地区
	日赤奉仕団加子母無線分団		会員数	20		人
ふりがな 代表者名	いとう よしひこ		延べ 参加人数 内(会員数)	115 人(104 人)		
	伊藤 義彦			ミーティング2回(延べ22人) 防災訓練(延べ20人)警報対応(延べ8人) レピータ視察・メンテナンス(7人) ロールコール16回(平均5.4局)		
事業名	アマチュア無線による地域活性化と 防災のためのネットワーク構築		実施期間	平成 30 年 5 月 1 日から 平成 31 年 2 月 17 日まで		
総事業費 内(補助金額)	213,629 円 (200,000 円)		実施期間	平成 30 年 5 月 1 日から 平成 31 年 2 月 17 日まで		
事業 分類	番号	②		活動 分野	番号 ②、⑩	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			活動 分野	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流	
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育	
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業 内 容	事業の目的					
	アマチュア無線局を増やすことにより、アマチュア無線によるコミュニケーションを活発にする。それにより、固定電話・携帯電話が使用できないような災害が発生したときにもアマチュア無線局のネットワークを活用し、人員把握など初期の情報伝達の役割を担い、地域住民による自助に寄与できるようにする。					
	具体的な活動内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 失効してしまったアマチュア局免許の再申請への支援 月3回の情報伝達情報交換の場(ロールコール)の実施 加子母地域内でハンディタイプの小出力無線機による容易なコミュニケーションを可能にするための、中継機器(レピータ)の整備 市防災訓練への参加(情報伝達訓練の実施) 警報発令時に開局し、必要に応じて支援できるよう情報交換 					
	主な活動の流れ					
	ロールコール					
	再申請支援					
	レピータ整備			○		
防災訓練等			○○ ○			
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦労したこともご記入ください。)						
<ul style="list-style-type: none"> ロールコール(情報伝達・交換)を毎月6日、16日、26日の20時から21時まで行った。各回の参加無線局は平均5.4局(去年は、平均3.5局)。実施回数は昨年より少なく、期間中16回にとどまった。 警報発令時には、開局しメリット交換など情報伝達を行った(合計3回)。 レピータは、劣化したアンテナケーブル(約30年経過)を新調した。これにより、通信可能地域を昨年よりさらに広げることができた。 防災訓練には、避難所ごとの1局ずつメンバーを配置して、情報伝達訓練ができた。 						
今後の展開(自立に向けた活動)						
<ul style="list-style-type: none"> 再開局案内と申請の支援については今後も継続する。 災害時には早急に開局できるよう、加子母総合事務所に本部局を常設したい。そのために総合事務所と協議を行いたい。 ロールコールは今後も継続し、常に電波の出せる無線局を増やしていきたいと考えている。 防災訓練を通常のロールコールでの成果発表の場と位置付けて、総合事務所や各一時避難所のリーダーとも連絡を取って充実した訓練ができるよう、役割を果たしたい。 						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)

防災訓練準備 (H30.09.01)



日赤研修会 (H30.05.10)



レピータメンテナンス (H30.08.25)



防災訓練本部運営 (H30.09.02)



番田区公会堂へのアンテナ設置 (H31.2.11)



防災訓練支部局 (H30.09.02)



(平成30)年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ブラック ビー クラブ BLACK BEE CLUB		地域名	付知	地区	
			会員数	21	人	
ふりがな 代表者名	はやかわ としひろ 早川 利廣		延べ 参加人数 内(会員数)	202 人(21 人)		
事業名	ハイバチで地域づくり ～食文化を次世代につ繋ぐ～			総会 13人、はい蜂ぼい 26人、コンテ スト打合わせ 15人、他地区はい蜂コ ンテスト 13人、付知はい蜂コンテスト 1 20人、反省会 15人		
総事業費 内(補助金額)	321,907円 (200,000円)		実施期間	平成 30 年 5 月 31 日から 平成 31 年 2 月 20 日まで		
事業 分類	番号		活 動 分 野	番号		
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事 業 内 容	事業の目的					
	付知町では、昔からハイバチを飼養して蜂の子やイナゴを捕獲し食べることで食生活における滋養分を補う食虫文化がある。 この地元に残る文化を次世代へ継承し世代間交流による地域づくりを目的とし、地元の若い人たちに蜂を飼育してたへボ(蜂の子)を食べてもらうという体験を通じ、高校生から高齢者まで交流を図りながら次の世代に受け継ぎ地域の活性化につなげる。					
	具体的な活動内容					
	育てる蜂の巣を見つける蜂追い体験から巣箱の設置・飼育、蜂の幼虫抜き体験や調理をして試食。 蜂追い体験等を楽しみながら世代を超えた交流を行い、活動の活性化と継続して活動していくために関わる人を増やしていく。 付知 BLACK BEE CLUBはい蜂コンテストの開催(蜂抜き体験、試食会、講演会)、蜂追い体験の開催、他地区のはい蜂コンテストへの参加、新商品開発、販売。					
	主な活動の流れ					
	・総会 及び親 睦会	・付知 BLACK BEE CLUB 蜂 追い	・蜂ぼ い会	・第19回付知 BLACK BEE CLUB はい蜂 コンテスト打ち 合わせ会	・山中湖東京大学演習林蜂 追い駆除 ・加子母はい蜂コンテスト参 加 ・第19回付知 BLACK BEE CLUB はい蜂コンテスト	・串原へぼまつり 参加 ・付知 BLACK BEE CLUB反省 会
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	12月～2月					
	具体的な活動成果(失敗や苦労したこともご記入ください。)					
	・第19回付知BLACK BEE CLUBはい蜂コンテストを開催し、県内外から多くの蜂の巣を出品していただき、盛大に開催することができた。講演会では立教大学の野中教授やフードコーディネーターの上村氏からはい蜂についていろいろな話を聞くことができました。また、蜂ぬき体験や試食会を行い、訪れた方々にはい蜂の良さを知っていただきました。 ・他地区のはい蜂コンテストに参加し、情報交換ができた。 ・蜂に興味のある、若者を10名程度募集したが、あつまらなかった。PR不足。					
今後の展開(自立に向けた活動)						
地域に伝わる伝統的な食文化を若者たちに継承し、情報発信することで地域資源の魅力アップにつなげていく。また、昆虫食は昨今注目を浴びており、当地域ではへボは高級食材として取引されており、新商品の開発などにも取り組み多くに人に地域資源として再発見してもらい、安定的な出荷をおこなうことにより、収入が増やしていく。						

※この様式は活動事例集として編集し自由に変更しないでください

第1回 はい蜂ばい打ち合わせ



第1回 はい蜂ばい



コンテスト用 巣箱からの取り出し



付知はい蜂コンテスト 講演



コンテスト はい蜂抜き体験



南アフリカノースウェスト大学教授との交



ふりがな 団体名	ひでよしのきりかふぼぞんかい		地域名	高山	地区	
	秀吉の切り株保存会		会員数	26	人	
ふりがな 代表者名	こまだ よしあき		延べ 参加人数 内(会員数)	66 人(64 人)		
	駒田 義明			6月7日3人(3人) 7月5日3人(3人) 8月28日12人(12人) 9月2日8人(8人) 10月8日5人(5人) 1月16日10人(9人) 21日8人(8人) 22日3人(3人) 23日4人(4人) 31日10人(9人)		
事業名	秀吉の切り株保存事業		実施期間	平成 30 年 6 月 1 日から 平成 31 年 2 月 15 日まで		
総事業費 内(補助金額)	284,746 円	(200,000 円)				
事業 分類	番号	②	活動 分野	番号		④⑩
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業			①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
事業の目的						
朝鮮出兵時に豊臣秀吉の命令で伐採された切り株の保存と伝承を行い、観光客が増加する中、常磐神社、常盤座、秀吉の切り株をセットにしてPR及び売り出すことができる						
具体的な活動内容						
①切り株周辺の環境整備と散策路、防護柵の点検・整備と増設 ②「常磐神社」「常盤座」「秀吉の切り株」をセットにした分かりやすいパンフレットの作成 ③現地の案内板・説明板の増設						
主な活動の流れ						
事業 内容	役員会 説明板内容検討	環境整備 説明板作成 保存会役員総会	環境整備 説明板設置	パンフレット資料収集 パンフレット原案作成	パンフレット検討 階段の設置	パンフレット決定と作成 パンフレットの配布
	6・7月	8月	9月	10・11月	12・1月	2月
具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）						
道路から散策路への通路が土の斜面であったため、滑ることや靴の汚れなどが心配された。その斜面に御影石のしっかりした階段が設置でき、安全な通行ができるようになった。また、散策路の入り口にケヤキの丸太の輪切りを利用した「秀吉の切り株」の説明板が設置でき、その歴史的な意味を伝えることが出来るようになった。「秀吉の切り株」のパンフレットの作成に当たり、「常磐神社」と「常盤座」をあわせて「常磐の森の三つの宝」ととらえ、三つをセットにしたパンフレットを作製した。写真だけでなく文章での説明も加え、観光客だけでなく区民へ理解や小学生への学習資料にも利用できそうである。切り株の腐敗防止については県の専門機関などへの問い合わせをしているが、良い方法が見つかっていない。						
今後の展開（自立に向けた活動）						
初年度(平成29年度)に整備した散策路の階段は、生の桧の間伐材であるため近い将来腐敗することが考えられる。そのため、内部まで腐敗防止の薬剤を浸透させた丸太に交換したい。また、散策路の周辺の雑草の刈り取りや倒木、落下した枝や繁茂する藤蔓などの除去などの環境整備は、継続して行う必要がある。パンフレットは、区内全戸に配布することや福寿会、高山小学校、保育園など各団体にも配布して広めていきたい。小学校の学習への利用は、今後学校側と協議して進めたい。また、公民館、市の観光施設、文化施設などでも利用をお願いしたい。切り株の腐敗防止策が見つかっていない。今後とも引き続いて追求する必要がある。						

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください



説明板の設置作業



完成した説明板



御影石の階段設置



重機を使った掘削や石の運搬



完成した階段と奥の説明板
奥は昨年設置した柵



新しいパンフレット(表)

実施団体名 活動の代表者名 事業名 総事業費 内(補助金額)	わくわくみあい	地域名 参加人数 実施期間	蛭川	地区		
	わくわく組合		18	人		
	ふるた ひろゆき		308 人(47 人)			
	共同代表 古田浩之		もりのままっこ 210人 自然体験塾 子ども 68人 大人30人			
事業名	もりのままっこ(子育てサロン) &自然体験塾					
総事業費	213,200 円		平成 30 年 6 月 5 日から			
内(補助金額)	(160,000 円)		平成 31 年 3 月 7 日まで			
事業分類	番号 ①		番号 ①・⑨			
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業 ②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業 ③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他			
	活動の目的					
	わくわく組合は、蛭川の人や自然を活かし、みんなでわくわくすることを考え、みんなで実行しながら美しく暮らせる地域にしていくことを目指して発足しました。 多くの地域で言えることですが、自然に囲まれた環境に住んでいるにもかかわらず、その中に入る人は昔に比べかなり減ってしまいました。私たちは自然から学ぶことの多さを実感し、そのことを少しでも多くの人と共有したいと考えています。自然に触れながら、人と自然、人と人、さらには人と社会との繋がりを見つめ直すきっかけづくりとなればと考えこの事業を企画しました。					
	具体的な活動内容					
	・もりのままっこは、大人から子どもまでが自然との触れ合いの機会を持つために、整備した自然環境の中で子育てサロンを行うものです。子育て世代の交流の場となるだけでなく、助産師が常駐することにより妊婦さんから参加でき、いろいろな相談にも対応できます。 ・自然体験塾は、森の中で環境教育や森林レクリエーションを行ったり、自分の生活と自然が繋がっていると実感を持てるような体験(水のこと・火のこと)など、自然をより身近に感じれるようなプログラムを実施します。					
	主な活動の日程					
	もりのままっこ 毎月2回 平日の昼間に開催					
	自然体験塾	○ ○	○	○ ○		
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
	具体的な活動成果(失敗や苦労した点も記入ください)					
	どちらの活動にしても、整備した森の中で活動することの気持ちよさは感じてもらえたと思います。もりのままっこについては、どちらかという自然派な人たちの参加が多くなりました。どのような方でも参加できるよう努力が必要です。自然塾に関しては口コミで知られ、だんだん参加者が増えていきました。森の中で、のびのびと遊ぶ子どもの姿をたくさん見ることができました。大人たちも童心に帰り、夢中になって遊んだり作業をしたりする姿も見られました。					
	今後の展開(自立に向けた活動)					
	・参加者が今まで以上に楽しく安全に過ごせる空間となるよう、活動のフィールド整備をさらに進めます。 ・子どもたちが気楽に入って遊べる森を増やすためにも、大人たちの里山保全への意識改革ができたらいいなと考えています。					

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

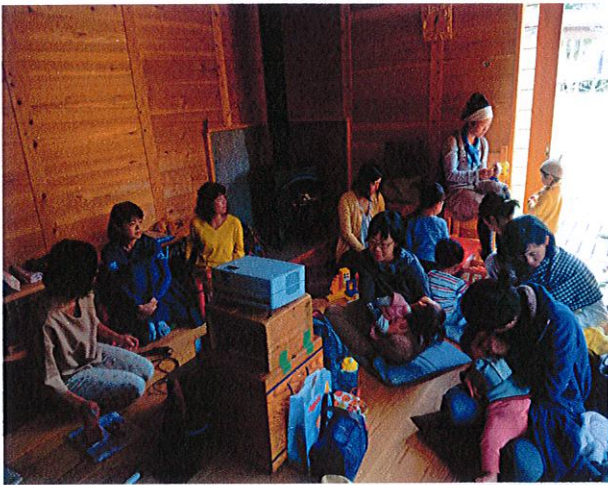
活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



もりのままっこ: 屋外にて交流



もりのままっこ: 屋外にて交流



もりのままっこ: 室内にて勉強会



自然体験塾



自然体験塾: ロープ遊び



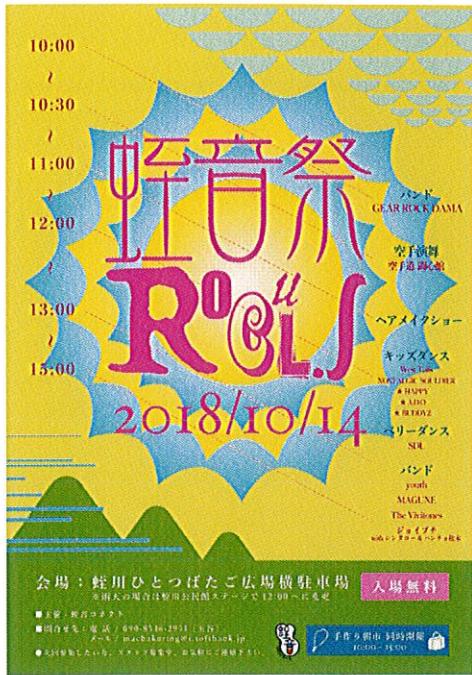
自然体験塾

平成 30 年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

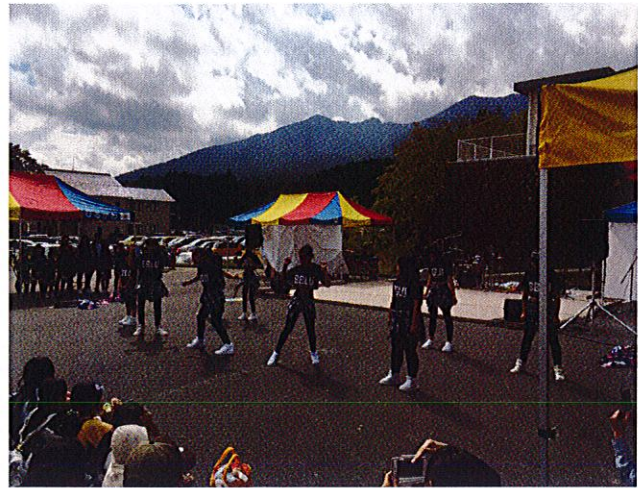
ふりがな 団体名	ひるおんこねくと	地域名	蛭川	地区					
	蛭音コネクト	会員数	7	人					
ふりがな 代表者名	たまたに まさゆき	延べ 参加人数 内(会員数)	63	人(7				
	玉谷 正幸)			
事業名	蛭音祭								
総事業費 内(補助金額)	166,738 円 (160,000 円)	実施期間	平成 30 年 6 月 8 日から 平成 31 年 3 月 8 日まで						
事業 分類	番号	③	活動 分野	番号	⑩				
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流 ⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育 ⑩文化・生涯学習 ⑪その他	①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流					
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業			⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育					
③前の二つの他、地域づくりの親展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他							
事業 内容	事業の目的								
	蛭川は文化協会があり年間においても協会の団体の発表などがありますが、地元において若者から中高年までが自分で好きなことや趣味でやっていることなどを発表する機会がなく、なんとかそういう人たちに人前で発表する喜びを体験してもらい、その経験を生かして次の地元にいる世代の子どもたちや地域の人との繋がりを広げていくことを目的とします。								
	具体的な活動内容								
	蛭川の地域でさまざまな活動をしている人にジャンルを問わず募集をして様々な取り組みを人前で発表をして地域全体で蛭川を盛り上げてくイベントを企画していきます。またすでに定着している地域のイベントにも積極的に参加をしてステージをサポートしていきます。								
	主な活動の流れ								
	イベント企画	→	出演者募集	→	イベント準備開始	→	イベント開催	→	反省・意見交換
4月		6月		8月		10月		12月	2月
具体的な活動成果 (失敗や苦勞したこともご記入ください。)									
今回は第3回ということで同時開催のママさん朝市も例年より開催時間を多く取りたくさんの方にイベント出演してもらうことが出来ました、今まではダンス、音楽などを中心としたステージでしたが、今回は空手の組手・演武、メイクアップショーなどジャンルも増えたことが今後のイベントを盛り上げるためのきっかけになりました。これは毎回のことですが野外でのステージになるためいつも天候に左右されるということで今回も朝の準備からスタートまで雨が降っていてステージの準備・開催場所等の変更などを想定して動かなくては行けなく、イベント運営スタッフの人員も限られているなか準備・設営等が非常に厳しい状況でした。									
今後の展開(自立に向けた活動)									
今後に向けてイベントを無料でお客さまに見てもらえる内容のため、どこの部分で収益をあげて自立して運営していくかを考え、ステージ出演料以外でイベント時のスペースを活用して、フリーマーケットブースや飲食ブースなどを出店してもらい、そこでのブース料もイベント収益にあてていければと考えています。またボランティアスタッフも今後は増やしていきたいお客様参加型のステージイベントも企画してそこでの参加料も収益としてあげられるようにしていきたいです。									

※この様式は活動事例集として編集しますので変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



イベントポスター



子どもたちによるキッズダンス



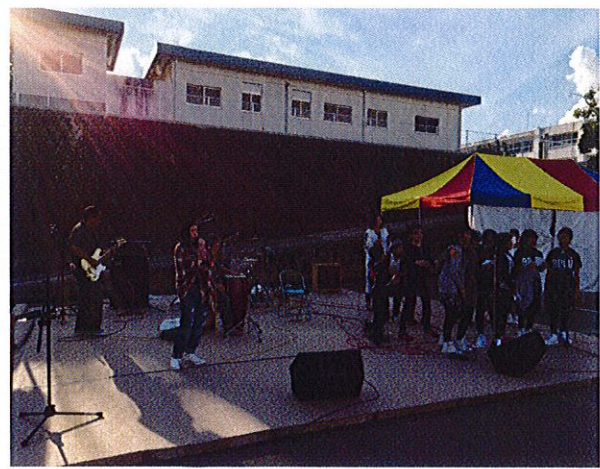
ヘアメイクショーの様子



ベリーダンスの様子



バンドによる演奏



全員によるラストコラボステージ

平成30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	ふらわーおぶらいふいんなかつがわ		地域名	中津川		地区	
	フラワーオブライフin中津川		会員数	6		人	
ふりがな 代表者名	はせがわ みか		延べ 参加人数 内(会員数)	123		人(4 人)	
	長谷川 美佳						
事業名	命と食の大切さをつなぐ						
総事業費 内(補助金額)	102,269 円 (42,231 円)		実施期間	平成 30 年 6 月 1 日から 平成 31 年 2 月 28 日まで			
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号		①
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業				①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流		
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業				⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育		
③前の二つの他、地域づくりの進展に寄与する事業			⑩文化・生涯学習 ⑪その他				
事業の目的							
<p>食の安全、食の大切さ、体のすばらしさを、未来を担う子どもを育てている親さんに知っていただく。</p>							
具体的な活動内容							
<p>6月食の勉強会のテーマは油の話や最先端の食事法を学ぼう。 50名程参加。 7月園の先生方の研修で24名の保育に携わる方に観ていただく。 〃 岩村でベジ弁当（自然農法）付きの上映会14名。 11月黒川でも弁当つき上映会。午前の部、午後の部で26名。</p>							
主な活動の流れ							
事業 内容	食の勉強会 依頼企画実 施	「甦れ生命の 力」上映会 (岩村)	「甦れ生命の 力」上映会 (黒川)	「甦れ生命 の力」上映 会 (中津川)		「みつばちと地球 とわたし」エコエコ 上映会	
	6月 7月	8月	11月	12月	1月	2月	
具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）							
<p>以前蛭川で映画を観ていただいた方から上映会をして欲しいと声をかけていただき、計4回の上映会と食の勉強会を開催。市外での開催も2度実施しました。 市外での開催にも関わらず、市内の方にも来ていただきました。</p>							
今後の展開(自立に向けた活動)							
<p>参加費から勉強会・上映会にかかる費用を補うことができ、余剰分は今後の活動資金とすることができた。今後は関心のない人に向けてのPRも考えていきたい。 今年は講師を呼んでのイベントは実施できなかったもので、相談し計画していく。</p>							

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



幼稚園の先生方の研修



岩村上映会



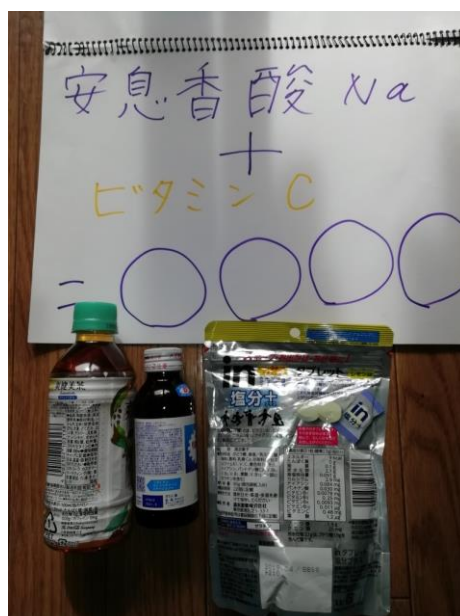
自然農法無農薬ベジ弁当を食べながらの感想交流会



甦れ生命のカアンケート



無農薬ランチ
上映後の感想・意見交



添加物についての勉強会
クイズ (幼稚園にて)

平成30年度 **がんばる地域サポート事業** 活動事例報告書

ふりがな 団体名	よつめがわのさくらとかんきょうのかい		地域名	実戸		地区	
	四ッ目川の桜と環境の会		会員数	10		人	
ふりがな 代表者名	つげ たつお		延べ 参加人数 内(会員数)	171		人(59 人)	
	柘植 龍雄						
事業名	四ッ目川の桜と環境の整備						
総事業費 内(補助金額)	53,055 円 (50,000 円)		実施期間	平成 30 年 6 月 1 日から 平成 31 年 2 月 28 日まで			
事業 分類	番号	①		活動 分野	番号	③	
	①地域の課題の解決等、住みよい地域づくりに寄与する事業		①健康・福祉 ②生活安全 ③環境 ④観光・交流				
	②地域の特色を生かした地域づくりに寄与する事業		⑤農業 ⑥林業 ⑦商業 ⑧工業 ⑨教育				
③前の二つの他、地域づくりの進展に寄与する事業		⑩文化・生涯学習 ⑪その他					
事業 内容	事業の目的						
	四ッ目川の桜の木は、植林されて70年が経過して老木化しているが、出来るだけ長く楽しめるようにしたい。 河川敷の草刈りにより、景観を良くし地域の防災・防犯に役立てたい。 そして目指すは、地域の魅力 Up↑ Up↑						
	具体的な活動内容						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜の施肥 ・ 枝打ちと河川敷の草刈り ・ 区のますつかみ大会の手伝い ・ 桜の写真展 ・ 台風後の桜の見回り 						
	主な活動の流れ						
		桜の施肥	区の「ますつかみ大会」の手伝い	台風後の見回り	桜の枝打ちと河川敷の草刈り	桜の写真展	3月の草刈りに向け準備
		6月	7月	10月	11月	1月	2月
	具体的な活動成果（失敗や苦勞したこともご記入ください。）						
	さくら橋より下流の景観がとても良くなった。 桜の切った枝は、ボランティア袋50袋にもなり大変だった。 桜の写真展は好評を博し、恵峰ホームニュースに掲載された。						
	今後の展開(自立に向けた活動)						
立ち上げ部門では、さくら橋より下流の整備のみにとどまりましたが、より難関であるさくら橋より上流の整備に果敢に挑んで行きたい。							

※この様式は活動事例集として編集し自由に変更しないでください

活動状況写真等 (6枚程度添付し、コメントを添えてください)



6月10日：市内一斉清掃と同時に さくら橋周辺の桜に、会員及び区民により施肥を実施。
肥料は、建設課より支給されたグリーンパイル50本。
金テコで深さ30cmほどの穴をあけグリーンパイルを木ハンマーで打ち込む。



7月14日：翌週に実戸区で行われる「ますつかみ大会」のために、会員で草刈りを実施。
その10日ほど前、梅田組が草刈りをしてくれたが、草はすぐ伸びる。
酷暑の中、2時間ほど。



10月：台風21号・24号・25号後の見回りを実施。
この写真は一色側のもので、根元から倒壊した。この後、建設課は速やかに撤去してくれた。
これ以外にも倒木あり、枝が折れるは多数。



11月10日：「桜の整備作業」をボランティアを募集して行った。さくら橋より下流の桜の脇枝を払う、テングス病のある枝を切る、それを裁断しボランティア袋に詰める(50袋)。河川敷の草刈りも実施。
会員10名、その他16名が参加。

1月6日：実戸区の新年会に合わせ「桜の写真展」を開催した。「恵峰ホームニュース」にも取り上げられた。
(平成31年1月19日(土)発行)



(1) 平成31年1月19日(土曜日)

恵峰ホームニュース

配布地域：恵峰ホームニュース・中津川市・恵那市35,000部/木曽ホームニュース・木曽郡6,000部

70年記念「四ツ目川の桜変遷写真展」

かつての桜の名所、四ツ目川(中津川)の桜は、昭和30年代から平成まで、約70年間の歴史を刻み、市民の心を魅了してきました。この歴史を伝えるため、写真展を開催します。

写真展は、昭和30年代から平成まで、約70年間の歴史を刻み、市民の心を魅了してきました。この歴史を伝えるため、写真展を開催します。

写真展は、昭和30年代から平成まで、約70年間の歴史を刻み、市民の心を魅了してきました。この歴史を伝えるため、写真展を開催します。